



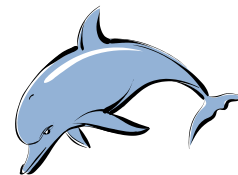
C O N T E N T S

<トピックス>

夏季休業中の開館時間と長期貸出のお知らせ
 図書館 MAP 付きパンフレットリニューアル

<お薦め図書>

『細野晴臣分福茶釜』



<つぶやきライム>

Google と OPAC ~ 頑張れ OPAC ~

●夏季休業中の開館時間と長期貸出のお知らせ

試験も終わり、いよいよ待ちに待った夏休み。夏季休業中は図書館の開館時間が左に掲載したカレンダーの通り、変則的になります。来館時にはご注意ください。

また貸出期間も変わります。学生と教職員に限り、期間中の貸出の返却期日が10月1日までになります。延長はできないのでこちらもご注意ください。

←夏休み中の開館カレンダー	通常開館	土日祝開館
休業期開館1 9:00-17:00	8:30-21:30 休業期開館2 9:00-19:00	10:00-17:30 休館日 返却図書はポストへ

2011年8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2011年9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

●図書館 MAP 付きパンフレットリニューアル

昨年度の図書館コンシェルジュが作成したパンフレットを、今年度の図書館コンシェルジュがリニューアルしました。図書館の館内 MAP だけでなく、検索方法等も載っています。



カウンター前の館内 MAP の下に置いてあるので、ぜひ手に取って下さい。

前期の図書館コンシェルジュの活動は8月8日までとなります。後期には活動を再開しますので、また図書館でお会いしましょう。



<お薦め図書>

細野晴臣分福茶釜

細野晴臣著；鈴木惣一朗聞き手

人それぞれ「カッコいい」の定義は違うだろうけれど、私がときめいてしまうのはいつもどこか変わった人である。細野さんだって例外ではなくそんな変わった、カッコいいおじちゃんのひとり。80年代一世を風靡し、いまだ世界中にその崇拝者を持つかの有名な YMO のメンバー、細野晴臣。本書は細野氏が聞き手の友人でもある鈴木氏に向かって語った 80 講を集めた一冊である。

音楽家だからって単なる音楽談義のみだと侮ることなかれ。目次を見ただけでも「そば打ち」「北風と太陽」「地獄に馴れる」と繰り広げられたおしゃべりは多様だ。そしてその随所に著者独特の哲学観がのぞく。自身の哲学観を磨きそつと未来へと背中を押してくれる啓蒙の書でもある。ひとつひとつが含蓄に富み深甚であるその内容もさることながら、私が何より心惹かれたのは“言い回し”である。決して人に自分の生き方を押し付けようとはしないその温かい絶妙な語り口。相手に盲信を期待するわけではなく、あくまでひとつの見方の提供者として徹している点がすてきなのだ。そうして人を諭そうとする企みは微塵も感じられないのに、いつの間にか彼の方にひきずられてしまっている。無論それこそが“細野ワールド”である。そこに全身で浸るとき、静かな幸福が湯気となって眼前に広がってゆく。こんな「福のお裾分け」ならいくらだって受け取りたいと思わずにはいられないのだ。

(hiroco)【914.6/H95 1F 閲覧室】

この図書は人文社会科学研究科 修士 2 年の図書館コンシェルジュ 推薦です。



<つぶやきライム(18)~図書館職員のメッセージリレー~>

Google と OPAC ~頑張れ OPAC!!~



最近の調べ物では、Google を使うことが多くなってきています。Google を使うことで、キーワードを入れるだけで関連するサイトが手軽に検索できるということは便利なのですが、検索結果も大量で公的な機関のページから怪しげな個人のページまで出てきます。そのため従来の書籍で提供されているものと比べると、利用する側でその有用性についての判断が求められることは多くなってきます。加えて、新しい事柄は書籍では出ていないことも多くなってきました。

この一方で、図書館での調べ物に欠かせないデータベースとして OPAC(Online Public Access Catalog)があります。これを使えば、図書館でどんな資料を利用することが出来るかを検索することが出来ます。最近の OPAC では、図書や雑誌の所蔵情報の他にも、e-Book や電子ジャーナルも登録されているので、インターネット上で提供される有料情報も提供できるようになってきています。そのため、書籍や有料で提供される信頼性の高い情報を得るためには、Google よりも OPAC が向いています。

世の中には Google で探せない情報も随分あります。電子データ化が進んでいない分野の情報は書籍でしか存在しないことも、まだまだ多くあるようです。しかし数年前から Google で絶版書籍の電子化が行われたり、日本でも国立国会図書館で古い資料の電子化が進んできたりしています。また電子出版も始まっているので、従来の紙の書籍に変わり、電子書籍を利用するケースも増えてくると思います。

従来の OPAC は資産台帳的なもので、自館で所蔵するものの目録に過ぎませんでした。しかし Google の隆盛や情報の電子化の流れを鑑みると、将来的には直ぐ使える有用な情報源を提供できるものとなっていく必要があります。インターネットが普及して以来、情報が爆発的に増え続けている状況で、これからの OPAC がどう変わっていくのかは楽しみなところですよ。(ef)



(けんさくくん)

前期も残りはテストだけ。夏休みには、海に山に行きたいところがたくさんあるよ。



(みいなちゃん)

わたしはおでかけもするけど、普段は図書館に来て読書をする予定よ。自分の家だとエアコンの付け過ぎじゃないかって気になっちゃって。



(ライム博士)

今年の夏は節電が大いに叫ばれているからね。公共の場所で過ごしたり、屋外に遊びに行くのはとてもいいと思うよ。



(けんさくくん)

夏休み中は 5 時までしか開館していないし土日も閉館だから、間違っても開いていないときに来たりしないようにしないとね。